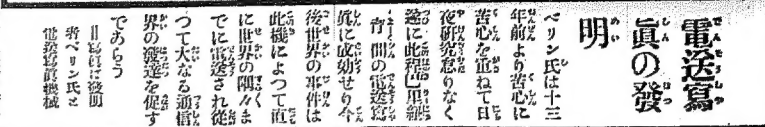


長江好の部下
本隊には三百餘
鴨江上流に八百
馬賊になる動機は種々多であ

彼^{かれ}の地方^{ちほう}に於^おける支那^{しな}の官兵^{くわんぺい}の給料^{きやうりつ}は大抵^{たいてい}九圓^{くわん}、巡警^{じゆんけい}は七八圓^{しちぱん}であるが粟粥^{もくじやく}ばかり喰^くつても飽^あたないで底^{そこ}七八圓^{しちぱん}では食^くへないので不^ふ満^{まん}の鮮^{せん}人の仕^し事^{ごと}の上^{うへ}前^{まへ}を



疫情を速報に努むるに共に醫官
二名警察官十名をして哈爾濱
面より南下する支那勞働者の
康状態を調査せしめ之が爲否
は寶城子に出發南下する列車
乗車せしめてゐる又鐵道附屬地

支那官憲 がベスト侵入に對し防禦上何等自覺する處が無いので心あるものは心配してゐる第一線にして防禦方法宜しきを得ざれば今後第二線を脅威

の葬儀

今回の捜査勤務に當り、早
に活動し、不幸敬憐に焼
州警察署、警部館、村常
飯は直に義州に護送し、

思ひます。特殊な責任を擔
 は例外です。無論昔に於て
 れてゐた様な意志の定まり
 時代の所謂早婚は甚だ弊
 悲慘の結果

人、
 現住所
 州安重
 北明夏
 四外住
 間に
 來、
 密、
 遼、
 中、
 の、
 處、
 本、
 月、
 江、
 東、
 察、
 察、
 於、
 於、
 有、
 犯、
 發、
 見、
 格、
 關、
 の、
 末、
 逮、
 捕、
 し、
 短、
 十八、
 其、
 他、
 不、
 穩、
 安、
 多、
 數、
 尚、
 客、
 年、
 十、
 二、
 月、
 中、
 大、
 同、

二日所願
 一人一名を
 鏡二貫包
 を押散せ
 都に於て
 眞の意味に
 了て行はるゝ
 適當な機に於て
 であつてほしい。さうして
 了て行はるゝ
 眞の意味に
 了て行はるゝ

らねばならぬが、その實
現が易い、それにはさう
教育者なり先覺者なりが
注意が肝要である。亦
すべて物事に傾いてゐる處
女生徒間の理想なきも軍

開闢、齋庭(新山)宮田諸先生の
話あり並七日午後七時より例
法餐と遊見司監の説教あり一然
衆語を起し

▲京城聯合基督教會、南米谷町
六日前九時半日曜學校、同十
半禮拜説教「家庭に關するキリ
トの教訓」長谷川牧師、午後十
時半日曜學校、同十時半禮拜説

人希望
から各
時代が
常に意
を伸々

大體に於て

開道に
 それに
 に見て
 二
 ▲メソヂスト教會(旭町二丁目)
 六日午前十時半、希望の神中村牧師午後七時半「死の征服」中村牧師
 ●曜山日本基督教會二月六
 前土時生、堀越三思渡曾川嘉
 午後七時生、鮮々基邦教義第
 夜市東京武小翁 永樂町の

な見方が
進んできま
感する處
結婚は女
が出來て
のりですが
せす、校友會なきの住所
道知さへも學校から照保
めて知らしてくるやうな
此處の
卒業生など

變更に
して初
譯だが

八七七六
日日日
朝對馬丸
朝對馬丸
夕、高麗
夕、高麗
夕、高麗
夕、高麗

關釜連路船

山發 韓七五〇
夕八三〇

彭亨少將出陣傳道集會をな
人にも歡迎する

しかもそ
てゐました。併し風の可
く、拵へ
の丸の旗が降る譯もあり
しい旗でし
いね。」

「さあ、そんなのです
が十一時頃
高井君は首斬けながらか
つぱ、ほつ
つに降り
てゐる。」

『さうも不思議で堪まり
ない。』

減でいいから、さういふことを
 ますよ。おれは、
 かたがひに、
 うそをいふ
 ません。
 誰と問合せても、目せ

も拾つたも「聞いたことがありません」

ん。そ
 めますか
 ん。高井君はかう言つて笑ひ
 た。その晩高井君が旅前に
 てから、僕の家で遅くま
 から降つた月の丸の照
 映合ひしました。

八つになる定坊は事もなけ
 死してしまひました。先づ
 秘めて置くより外に、さう
 戦断せんたの下しやうはありません
 でも珍しい話じの一つでは
 ですかねはり)


無を極めハイラル、イチハル、
 薩洲里、ジャライノール等
 新患續出 し今時は哈爾
 密にも各所に罹患死亡甚麗
 放棄するの機を呈してゐる也

奉天に近に開原にも患者が現
た位であるから南滿洲一帯は
恐怖を來してゐる、是に對す
第一線は春に於ける防疫施設
を固く、哈爾濱、重慶、防疫

「いふのも不思議ですね。僕が
かう言つて來れてゐますし、

かなこだけです。』
『尤も風の可憐から、
昨が降つたり、錨が降
つたり、蝸牛が降つ
たりしたまふこが
いづぞの雜誌に載つ

になる定坊は事もなげに斷
 してしまひました。先づさう
 置くより外に、さうにも
 の下しやうはありませんまい
 珍しい話しの一つではない
 か(なはり)


 オ製て勝等海マ
 ツル共其盡使
 ツチ自礎的に用
 文大第武市製合
 東京四八〇(一〇番)

加へ居り候様
テ御安心ノ上
多少ニ不拘御
注文仰付ノ程
奉答願候

株式會社公告
 第一〇九號
 東京市本所區橋本町一丁目
 大正十一年二月三日

商業登記公告
 東京市本所區橋本町一丁目
 大正十一年二月三日

仁川文庫
 大正十一年二月三日

天門上福來
 大正十一年二月三日

生徒募集
 大正十一年二月三日

錦文堂
 大正十一年二月三日

廣 告
 大正十一年二月三日

諸 印 章
 大正十一年二月三日

京城中學校
 大正十一年二月三日

平壤中學校
 大正十一年二月三日

龍山中學校
 大正十一年二月三日

大田中學校
 大正十一年二月三日

世昌洋行
 大正十一年二月三日

金 溶 股
 大正十一年二月三日

金 永 緒
 大正十一年二月三日

金 永 緒
 大正十一年二月三日

金 永 緒
 大正十一年二月三日

金 永 緒
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

演藝案内
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

安心の靴
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

中村眼鏡店
 大正十一年二月三日

第九十二席 小金井 肯洲 講演

(三) 二階御所(傳馬御所)

是れが山の手、此小廟所は小山に上れば松林は直取勢に
上り、龍王の萬石大仏如來尊像を、
様お守りの御師で、今人々皆、
御手前御所で差出づて来た
男、少し御座る隙待ちなすつ
て下せしや。傳達にはハッパ
感った。傳山の時じい北野
へ来てから始めたな好しう山
中とは申せ山麓に釣似をした
らぬつて押さえてやらう……何
だ町人男ナ何も然らんなく
かれ殿をしん喰ならん館
て好くございます。少し貴僧に
お頼み申してゐることがある。傳
ボラク姑めやアヤツキ、本山
へ送る所の金を焼けて申させ
たいものだから、男屋山賊とな
なし、御出さんの側々なん
ぞを猶太様な装束に着ちござい
まして、然んな事の願ひござ
やねのでけす。傳の娘はばう
願ひといふのは男旦那は何ん
でそれか、女中の御師さん
様で、是れから京都の御師
へ入つたしやろでござよう。男

承知をして下さいますか
なれば斯うやつて綴あつて
なさい。このくだらなくて
こんなことばかり分入る
んのもではないが、何う
度々改める。町ヘン何。

各都府の染物は岡山より下り、
京屋京丸
新見 長五郎七五五
御免本 振替帳八堂

居るうちに手當がついてあら
けを取柄は上り下りは申し
傳達の忠告にて、

男 黒牛はあるが荷物の中
が略劫だ、即出家候お

三十一年日文明天皇陛下

哀れな

[illegible]

タラバ粉砂やカチ石礫有名な中
山太閤家から獲置たアサヒの萬年筆
筆は日本人の製造でアサヒの特長最
て萬年筆の命たる所に先に類のない
特長を具へ「呼ぶまで萬年筆」
して非常な人氣を呼ぶるさうだ

牧野沃度注羽藏
内科小兒科
皮膚花柳科
院長
永樂醫院
今村純義
京永樂町二丁目
西本樂町一丁目


[illegible]

身體を害めず程よくやせて
中肉堅體の美容姿となる

[illegible][illegible]

外科内科
皮膚科
X光線K式アアテルミール
院長 正六侯蘭四
島崎病
電話七三
入院
龍

優等清酒



仁川京町
本莊酒
電話六五
本莊支
電話二

●品 揃●

牛革製上仕立トランク
ラクダ毛布鼠毛布各種
日ノ丸國旗及附屬品
京坂本町丁目天
高木 龍一店
電話五四

醫學士最有効と確定し
 醫學科大學病院
 米醫科大學
 等にて賞状配贈せる高貴著
 なるを保証す若し前述の証
 言に違へば事を發見する時は
 分折料百圓進呈
 ◎あらゆる治療を不令り効不
 き患者は兎に角一度來談お礼
 本講東京 有田音松
 大阪 東三〇本橋通丁白
 大坂心齋橋筋本町
 發賣所 有田音松
 京城南大門外電車道

くにせに
 グラッ

京藏黄金町電車通
 今鐘路十字街
 龍山三角廣場
 釜山辨天町丁目
 群山東榮町
 水浦榮町
 元山本町二丁目
 平壤郵便本局前
 鎮南浦三和町
 仁川宮町二丁目
 大邱弓町停車場通
 咸興本町二丁目
 晋州大安洞
 安東驛西番浦五百
 長春祝町五丁目六
 奉天松島町
 撫順高砂町二
 大連岩代町嬰城町角
 有田實業所
 有田トラップ
 有田音松
 松

散歩に仁丹・氣持よい
 訪問に仁丹・面しうい
 観劇に仁丹・目眩せぬ

外出のお味方
 名とで たしな
 外 出 の お 味 方
 名 と で た し な

キツト仁丹!!

金言
 満足は最もよい
 所有物なり
 (シエクスピアー)

八軒洞一五八良本前事良地木ハナ方に我宿九六四七十三
 二の四段をバット火が燃ゆ修った
 ので四段を家の大壁となり前助
 のに付いた人かたに三三三の

見起る御望な客に近來特有の
珍画肉布團

新式花形、肉は極薄、色は鮮明、
二寸幅、一枚、二枚、三枚、四枚、五枚、
川柳、和歌、俳句、漢詩、共、四、五、
京、神、山、和、二、三、四、五、六、七、
東、京、五、三、二、四、五、六、七、八、九、
社、花、中、社

薄利

時計店
貴屬婦人小間物
木村時計店
東京本町二丁目
電話七四一七
振替東京三三〇七

賣

別珍の特長が無くては
御氣の毒です

此商標と甲馳印に

御注意願升

(特約販賣御希望の方御照會を乞ふ)

りあ種倫十合色
寸要錢廿圓一足一本只
番千五萬壹京東警獨

四町銀小區橋本日京東
店商輔良井松
号八二八二局本話電

